

平成 26 年度公益財団法人富山県健康づくり財団事業報告

公益財団法人富山県健康づくり財団は、県から指定管理者の指定を受け富山県国際健康プラザ、富山県立イタイイタイ病資料館の県施設の管理運営を行うとともに、富山県健康増進センターにおいて、施設内健診事業と集団検診事業を財団自主事業として一体的に運営している

平成 26 年度においても、県からの委託事業を実施するとともに、各施設において積極的に事業の実施に取り組み、本県における健康づくり施設の中核団体として、県民サービスの一層の向上と業務の効率化に努めた。

第 1 国際健康プラザ事業

国際健康プラザは、県民の健康づくりの中核施設として、県民一人ひとりに適した健康づくり活動を支援するための事業を実施した。

国際健康プラザ施設利用者総数

区分	平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	比較増減(A-B)	
年間営業日数	309 日	309 日	0 日	
総利用者数	269,001 人 (870 人)	276,202 人 (893 人)	△ 7,201 人 (△ 23 人)	
内 訳	健康スタジアム 生命科学館 屋外施設 その他 (注2)	189,360 人 (612 人) 25,361 人 (82 人) 40,665 人 (131 人) 13,615 人 (44 人)	189,304 人 (612 人) 29,316 人 (94 人) 42,011 人 (135 人) 15,571 人 (50 人)	56 人 (0 人) △ 3,955 人 (△ 12 人) △ 1,346 人 (△ 4 人) △ 1,956 人 (△ 6 人)

注 1 : () は、1 日当たりの利用者数

注 2 : 内訳の「その他」は、講演会参加者、施設見学者等の数

1 指定管理事業

(1) 生命科学館事業

生命科学館は、主に幼稚園、保育所、小学校の校外学習や家族連れに利用された。

ア 展示事業

児童や生徒にからだの仕組みや健康づくりの大切さを学習してもらうため、実際に自分で触れて操作してみる、参加体験型の常設展示を行った。

(ア) 情報提供事業

季節にちなんだ企画展示（パネル等の展示）を行うとともに、小中学生の関心を引きやすいテーマを設けて公開実験を実施した。

a 企画展示

夏の企画展示	ウォーキングのすすめ	8月9日～23日
冬の企画展示	JAPANESE お風呂で健康	12月20日～1月4日
春の企画展示	あなたは大丈夫?メタボ注意報	3月7日～21日

b 公開実験

健康・伝統医学・運動などのテーマを設けて、参加型の公開実験を開催した。

年 9 回、延参加者数 197 人 (25 年度 9 回 延参加者数 190 人)

(イ) 元気とやま健康情報コーナー

疾病予防、運動、栄養、休養、伝統医学に関する展示を通して健康情報を発信した。

イ ボランティア育成事業

常設展示の解説を担当するボランティアの接遇や知識の向上、情報交換のための研修会を開催した。(2回開催) 展示ボランティア登録者数 6 人 (25 年度 登録者数 5 人)

ウ 校外学習の支援

保育園、学校等団体の校外活動としての来館を受け入れ、健康づくりの啓発を実施した。

団体数 51 団体 利用者数 25,361 人 (25 年度 団体数 56 団体 利用者数 29,316 人)

エ 親子ふれあい広場の活用

親子ふれあい広場を活用して、生命科学館、じゃぶじゅぶ池を利用する未就学児や保護者を対象に、楽しく遊び健康づくりについて学べるふれあいイベントを開催した。

広場利用者数 4,659 人 (25 年度 広場利用者数 5,092 人)

イベント数 年 4 回 延参加者数 64 人 (25 年度 年 5 回 延参加者数 118 人)

(2) 健康スタジアム事業

健康スタジアム（トレーニングゾーン、プール等）において、健康づくりの指導や実践指導を行うとともに、コース事業、講座事業等を実施し、利用者の健康づくりの推進に努めた。また県の施策による障害者、震災被災利用者のスタジアム利用料金を免除するとともに、財団独自に障害者の介助者についても免除し障害者が安心して利用できるように配慮した。

利用状況：障害者 23,935 人、介助者 1,485 人 震災被災者 645 人

(25 年度：障害者 22,370 人、介助者 1,366 人 震災被災者 901 人)

ア 啓発普及事業

(ア) 健康医学講演会

広く県民を対象に、日常の健康法等をわかりやすく紹介する健康医学講演会を開催し、健康づくりの啓発普及に努めた。

	講演テーマ	講 師	参加者
6月 20 日	「基本的な食生活について～スポーツ時に必要な栄養素は？～」	西能病院 管理栄養士 館川 美貴子 氏	12 人
7月 18 日	「水は命 名水あれこれ」	NPO 法人富山の名水を守る会 理事長 岡岸 喜義 氏	20 人
9月 26 日	「肩の痛みとスポーツ障害・予防法について」	高岡整志会病院関節鏡・スポーツ整形外科 部長 今田 光一 氏	24 人
11月 21 日	「実践！ラフターヨガ～笑いとヨガ呼吸法を組み合わせたエクササイズ～」	ラフターヨガティーチャー 大谷矢 辰則 氏	11 人
1月 23 日	「最新の肺がん情報とその予防」	富山県健康増進センター 所長 能登 啓文 氏	8 人

3月 27日	「精神的健康の知識と心との向き合い方」	富山大学大学院医学薬学研究部精神看護学講座教授 比嘉 勇人 氏	31人
--------	---------------------	---------------------------------	-----

年 6回開催 参加者数 106人 (25年度 6回開催 参加者数 105人)

(イ) 健康づくり講座

a PA (プロジェクトアドベンチャー) 講座

日常生活の中ではなかなか体験できない、集団の中での協力関係や信頼関係の大切さを実感してもらう講座を開催した。

(参加者数)

(単位：人)

講 座 区 分		平成 26 年度 (A)		平成 25 年度 (B)		比較増減(A-B)	
		回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数
PA講座	半日コース	16	359	16	473	0	△114
	1日コース	4	107	7	226	△3	△119
	計	20	466	23	699	△3	△233

b 健康講話

健康スタジアムの利用者に限らず一般県民を対象に「健康講話」を開催し、健康づくり、疾病予防、介護予防等に関する情報の提供に努めた。

(参加者数)

(単位：人)

講 座 区 分	平成 26 年度 (A)		平成 25 年度 (B)		比較増減(A-B)	
	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数
健康講話	5	39	6	71	△1	△32

c 母親のための健康づくり講座 (ヘルスアップママ講座)

乳幼児を持つ女性を対象に心身のリフレッシュや産後の体力回復等を目的に健康づくり講座を開催した。

(参加者数)

(単位：人)

講 座 区 分	平成 26 年度 (A)		平成 25 年度 (B)		比較増減(A-B)	
	回 数	延人數	回 数	延人數	回 数	延人數
ヘルスアップママ講座	24	48	24	56	0	△8

d 保養地講座

県内の様々な保養地に出かけ、健康づくり活動や地域の文化活動を体験し、心身をリフレッシュする講座。

e 栄養講座(四季のヘルシークッキング)

四季毎の旬の食材を使い、手軽にできるヘルシーな料理作りの講話と実習・試食を行った。

年 4回 延参加者数 33人 (25年度 年 4回 延参加者数 40人)

f 健康作り講師等の派遣事業

健康プラザの職員(健康運動指導士・保健師・栄養士)が、県内市町・関係団体等の依頼により施設利用時に併せ、健康づくりについて講義、実技指導を実施し、啓発普及に努めた。

年8回 (25年度 年9回)

イ 調査研究事業

(ア) 健康増進プログラム調査研究

富山大学、富山福祉短期大学と共同で健康スタジアム利用の中高年者を対象に、測定・調査を実施しデータを解析・検討した。

(イ) 富山県健康増進施設連絡協議会の開催

県内の運動型健康増進施設等 35 施設で構成する「富山県健康増進施設連絡協議会」を運営し、各施設間で情報交換を行った。 年1回 参加者数 18人

ウ 情報提供事業

(ア) ホームページやメールマガジンの配信により健康情報や最新のイベントに関する情報を提供した。

(イ) 健康ポケットカード等の配布並びにテレビや雑誌等のマスメディアを通しての啓発普及を行った。

(ウ) いきいき富山健康と長寿の祭典に健康プラザの展示コーナーを出した。

エ 人材育成事業

(ア) 健康づくり担当者研修会

県厚生センター、市町村等の健康づくり担当者、学校、企業の保健指導者を対象に健康づくり事業の効果的推進役としての資質の向上を図るため開催した。

年月日	講演テーマ	講 師	参加者数
3月20日	メンタルヘルスセルフケア	SMK 株式会社富山事業場 THP 心理相談員 大栄 美和子 氏	18人

(イ) 健康づくり指導者研修会・健康スポーツ医師研修会

県や市町村、学校、企業等の健康・保健指導担当者を対象とした「健康づくり指導者研修会」と県内の地域医療に関わる医師等を対象とした「健康スポーツ医師研修会」を開催した。

(この研修会は、健康運動指導士や健康運動実践指導者の資格更新のための単位認定講座と、スポーツ医の資格更新に必要な地域医師研修会を兼ねて開催した。)

年月日	講演テーマ	講 師	参加者数
3月14日	(講義) 富山の郷土料理のもつ力 ～健康づくりを見直すために～	富山短期大学食物栄養学科 教授 深井 康子 氏	指導者 17人
	(講義・演習) 身体調整とエクササイズの指導方法	パーソナルトレーニングジム体育屋 杉本 剛志 氏	
	(講義) 運動負荷試験と運動処方・プログラムについて～中高年から高齢者を対象に～	法制大学スポーツ健康学部スポーツ健康学科 教授 木下 訓光 氏	医師 21人 (午後のみ)

オ 実践指導事業

(ア) コース事業

利用目的に応じて健康づくりプログラムを提供した。

a 生活習慣病予防コース

健康増進や生活習慣病の予防・改善を目的に、個人に適した栄養・運動・休養プログラム等の健康づくり処方を提供し、本格的な健康づくりに取り組んでもらった。

(参加者数)

(単位：人)

コース名	平成 26 年度 (A)	平成 25 年度 (B)	比較増減 (A-B)
6 カ月充実コース	24	38	△14
温泉療法 1 カ月コース	0	0	—
健康充実コース	0	0	—

b 健康保持コース

健康・体力の保持増進を目的に、日常生活問診や体力測定の結果に基づき個人にあった健康づくり処方を提供し実践指導を行った。

(参加者数)

(単位：人)

コース名	平成 26 年度 (A)	平成 25 年度 (B)	比較増減 (A-B)
健康づくり通信指導コース	2	1	1
体力測定コース	590	692	△102

c 子ども(親子)のコース (子どもの健康づくりコース)

親子で参加してもらい、運動や栄養などについての知識を深めるとともに、実技にも取り組んでもらった。 参加者数 6 人 (25 年度 9 人)

d 高齢者向けコース(いきいきコース)

65 歳以上の高齢者を対象に、生活体力測定を行い、その結果に基づいたプログラムを提供し健康づくり実践をしてもらった。

(参加者数)

(単位：人)

コース名	平成 26 年度 (A)	平成 25 年度 (B)	比較増減 (A-B)
いきいきコース	1,178	1,046	132

e セルフコース (自由利用コース)

健康スタジアムを継続利用しやすいように利用する時間帯に応じて各コースを設けて、健康の維持・増進に取組んでもらった。

(利用者数)

(単位：人)

区分	利用形態	期間	申込者数	延利用者数
平日デイ	月～金曜日の 10:00～17:00 利用	1 カ月	1,130	13,641
		3 カ月	159	5,914
		6 カ月	110	8,699
平日プラス A	月～金曜日のフルタイムと土・日 (祝)曜日の 17:00 以降利用	1 カ月	175	2,770
		3 カ月	33	1,665
		6 カ月	25	3,919
平日プラス B	月～金曜日のフルタイムと土・日	1 カ月	120	2,283

	(祝)曜日の 10:00~12:30 利用	3 カ月	24	1, 213
		6 カ月	49	6, 115
休日プラス	平日 17:00 以降と土・日(祝)曜日のフルタイム利用	1 カ月	1, 643	21, 140
		3 カ月	212	9, 668
		6 カ月	156	13, 913
フリー	全営業日のフルタイム利用	1 カ月	298	5, 085
		3 カ月	81	4, 214
		6 カ月	144	18, 263
		計	4, 359	118, 502

f 健康測定(ワンコイン健康チェック)

健康スタジアム内利用者の希望に応じて、手軽な料金で測定できるワンコイン健康測定を実施した。

(利用者数)

(単位：人)

コース名	平成 26 年度 (A)	平成 25 年度 (B)	比較増減 (A-B)
骨密度チェック	571	552	19
食事バランスチェック	0	4	△4
ストレス度チェック	0	1	△1
ゆらぎ測定	3	5	△2

(イ) 指導・監視等の業務

トレーニング・プール・バーディゾーンの利用安全確保の観点から各エリアに職員を配置し、指導・監視業務を実施した。

a 自由参加プログラム

トレーニング・プールエリアで、利用者の利用形態に応じた内容を工夫し、自由に参加できるプログラムを実施した。延参加者数 83, 002 人 (25 年度 延参加者数 86, 484 人)

(ウ) ちびっ子室（託児室）の運営

健康スタジアム内のちびっ子室（託児室）に保育士を常時配置し、子育て中の利用者にも安心して利用してもらえるよう託児を行った。

よう配慮した。子ども延利用者数 1, 079 人 (25 年度 子ども延利用者数 1, 549 人)

(エ) 健康相談

健康プラザの利用者には疑問点等について気軽に相談してもらい、より安全に健康づくりに取り組んでもらうため、健康スタジアムにおいて医師、保健師、看護師、栄養士、健康運動指導士等による健康相談に応じた。相談件数 189 件 (25 年度 相談件数 88 件)

(オ) 医療費控除の証明

健康プラザは厚生労働省の「温泉利用型健康増進施設」及び「指定運動療法施設」の指定を受けしており、医師の処方に基づき健康状態の改善を目的に健康スタジアムを利用した場合に所得税の医療費控除の対象となることから、該当者に対し証明書の発行を行った。

発行件数 43 人 (25 年度 発行件数 52 人)

(3) 屋外健康づくり施設の管理

6haを超える屋外健康づくり施設を無料で開放し、緑あふれる環境の中で楽しく健康づくりができるよう、施設の維持管理に努めた。

平成26年度の利用者数は40,665人（25年度42,011人）であった。このうち、パークゴルフ場の利用者数は22,795人（25年度21,921人）であった。

＜主な施設＞ パークゴルフ場、健康遊歩道、トリムコース、アドベンチャーフィールドフィールドアスレチックス、じゃぶじゃぶ池、薬木の径、ハーブ園、薬草園、イベント広場

(4) 利用促進の方策

ア 市町村と連携した利用促進

健康プラザから比較的遠方で、利用者の少ない市町村と提携して「市町村の日」を設け、個人・団体の利用料金を半額とし、バスでの送迎を行なうなど利用の促進に努めた。

提携10市町村：氷見市、南砺市、上市町、小矢部市、高岡市、射水市、朝日町、滑川市、礪波市、立山町

利用者数：750人

イ 健康福祉バスの運営

健康プラザ所有の健康福祉バス（定員38人）等を活用して、市町村が実施する高齢者の健康づくり事業や児童クラブ、地域団体の送迎を行ない、健康スタジアム利用拡大に努めた。団体数80団体 利用者数1,914人（25年度 75団体 利用者数1,936人）

ウ PR事業やイベントの実施

健康プラザを広く県民に知ってもらい、楽しく利用してもらうため、健康に関する各種イベントを開催した。

（ア）「市町村の日」いきいきコース参加者の1回利用料を半額

（イ）「敬老の日イベント」60歳以上の利用者とその家族を半額補助

（ウ）「年末年始イベント」運動教室やもちつき大会の開催等

(5) 利用者への対応

ア 公募型利用者モニター会議の開催

健康プラザの運営改善を図るため、健康スタジアム利用者の中からモニターを公募して、利用者モニター会議を開催し、利用者の意見の反映に努めた。

利用者モニター：8人 モニター会議開催数：年2回（7月、3月）

イ ご意見・ご提案箱の設置

館内に「お客様の声・回収箱」を設置し、利用者の要望や苦情等を提出してもらい、改善の必要があるところについては、早急に改善措置を講じた。

(6) 地域等との連携

ア 地元等の連携

富山県国際健康プラザ協議会を開催し、周辺地域住民との連携を密にし、施設の円滑な運営を図るため地元関係者と協議した。 開催回数：年2回 参加者数30人

イ 他の施設及び団体等との連携

(ア) 健診機関との連携

関連施設である富山県健康増進センターでのドック健診や集団検診利用者を対象に、健康プラザの割引制度を実施した。 利用数1,269人 (25年度 1,183人)

(イ) その他団体施設との連携

県内プロスポーツ団体であるサッカーチーム「カターレ富山」と連携し、利用者とカターレ選手との交流イベントを開催した。

○内容 カターレ富山の選手・コーチによるデモンストレーションと実技指導、ゲーム

○参加者数 25人 (25年度 12人)

ウ イタイイタイ病資料館との連携

イタイイタイ病資料館と連携して、資料館の見学と健康プラザ体験をセットにしたコースを小・中学生、町内会等の団体を対象に実施した。

利用団体10団体 参加者数429人 (25年度 利用団体8団体 参加者数 437人)

エ とやま健康パーク友の会との連携

健康プラザ利用者のための会員組織「とやま健康パーク友の会」を運営し、健康プラザの利用助成や健康づくりイベントの開催等、健康プラザ利用促進のための様々な事業を実施した。 平成26年度 会員数 個人会員259人、団体会員83団体

(平成25年度 会員数 個人会員193人、団体会員95団体)

2 自主事業

(1) 介護予防指導者養成研修会

富山県内の地域包括支援センター職員を対象に、介護予防に役立つ運動機能向上に関する知識習得と技術スキルの向上を図るために「富山県介護予防指導者養成研修会」及び「富山県介護予防指導者実務（フォローアップ）研修会」を開催した。

・富山県介護予防指導者養成研修会

開催回数2回 参加者数20人 (25年度 開催回数2回 参加者数13人)

・富山県介護予防指導者実務（フォローアップ）研修会

開催回数2回 参加者数 9人 (25年度 開催回数2回 参加者数8人)

(2) 県等委託事業の受託

県・市町村職員や警察職員、企業従業員等のための健康づくり事業の受託

県共済組合等、企業の依頼を受け、健康的な生活を確立するための運動習慣づくりを目的とし

た研修、体力測定、運動の実践等を実施した。

団体名	事業名称等	開催回数	参加者数
富山県	ヘルスアップスポーツセミナー	12回	207人
	職員PA	3回	82人
富山県警察共済組合	心と体のヘルスアップセミナー	6回	97人
	健康づくり教室における講師派遣等業務	4回	79人
教職員厚生会	ヘルスアップセミナー	11回	88人
射水市	元気高齢者支援事業にかかる業務(パワーアップ貯きん教室)	6回	94人
黒部市(国保)	健康パーク健康づくり教室	2回	79人
氷見市	介護予防体験教室	1回	19人
上市町	いきいきコース実施業務	1回	23人
富山第一銀行健保組合	チャレンジコース		49人

(3) 特定保健指導事業

健康プラザの特徴を生かして厚生労働省の標準的な保健指導プログラムを加え、体力測定等の項目を組み入れ、実践指導を重視した方法で事業を実施した。

受講数・動機づけ支援コース 60人・積極的支援コース 42人

(25年度受講数・動機づけ支援コース 47人・積極的支援コース 54人)

(4) 健康づくり講師等の派遣事業

健康プラザの職員(健康運動指導士・保健師・栄養士)が、県内市町、企業、地域団体等の要望に応じて各地へ出向き、健康づくりの啓発普及に努めた。

年42回 (25年度 年37回)

(5) 教室事業

健康づくりを各方面から支援するため、運動系・文化系の様々な教室を開催した。教室の講師は公募方式とし、健康プラザが会場を提供し県民参加型の事業として実施した。

区分	教室名	開催時期	延参加者数
運動系	ナンバ式ダンス	通年	100人
	カターレダンス	通年	900人
文化系	歌謡教室	通年	48人

(6) 特別有料プログラムの実施

更なるレベルアップを図りたい継続利用者等の要望を考慮し、やや運動強度の強いプログラムを有料で実施した。 延参加者数 1,347人 (25年度 延参加者数 736人)

(7) 富山県立大学キャリア形成教育推進事業の受託

県立大学生の自己分析・自己開発等について、プロジェクトアドベンチャーの手法を用いて実施した。 開催回数10回 参加者数484人 (25年度 開催回数10回 参加者数472人)

(8) 射水市元気高齢者支援事業(パワーアップ貯きん教室)の受託

65歳以上の射水市民を対象に、9か月間、高齢者のための健康運動教室を富山大学及び富山福祉短期大学と連携して実施した。 参加者数94人 (25年度 参加者数 114人)

第2 イタイイタイ病資料館事業

1 イタイイタイ病資料館（指定管理事業）

イタイイタイ病に関する貴重な資料や教訓を後世に継承するため、県が企画立案を行い決定した事業内容に基づき、県と十分連携を図りながら事業を実施した。

（1） 資料継承事業に関する業務

県の指示に基づき、収集資料の保存管理、新規収集資料の分類、収集資料のデータベースの更新を行った。

ア 収集資料の保存管理業務

収集資料を適正な管理下で保存保管し、資料室（収蔵庫）、図書閲覧室（視聴覚室）及び収集資料の定期的な点検確認を行った。

イ 新規収集資料の分類業務

県で計画的に収集する資料について、県で定める方法により、適正に分類、整理した。

ウ 収集資料のデータベースの更新業務

県で新たに収集した関係資料の基本情報を県が整備したデータベースに入力した。

また、県の指示に基づき、収蔵資料を調査し、既に県で入力済の各データの加除修正を行った。

（2） 教育啓発事業に関する業務

ア 展示ガイドの増刷業務

県が提供する版下により、展示ガイドを増刷（日本語を6,000部）した。

イ 団体利用者の予約受付及び団体受入れ時の対応協力業務

県と調整して団体利用者の予約受付、受入れ準備、誘導、語り部講師や展示解説の補助を行った。

ウ 小中学校に対する学習支援業務

小学校における学習支援の一環として、授業で活用できる副読本を配布した。

県内 230 か所 10,620 部

エ 研修イベント事業に関する業務

県が企画立案し実施したイベント事業の準備や実施の補助を行った。

（ア） 子供向けイベント

イタイイタイ病を学ぶバスツアー

開催日：8月8日 場 所：神岡鉱山

参加人数 親子12組26人 (25年度 参加人数 親子10組20人)

（イ） 教員向け研修イベント

開催日：12月26日 場 所：資料館

参加人数 33人 (25年度 参加人員 36人)

(ウ) 一般向け研修イベント

- a 「萩野昇の生きた時代」研究発表及び鼎談

開催日： 4月 29日 場 所： 資料閲覧室 参加人数 110人

- b 「萩野昇の生きた時代」企画展

開催日： 4月 26日～5月 6日 場 所： 資料閲覧室 参加人数 580人

- c 「イタイイタイ病を考える県民フォーラム」

開催日： 2月 14日 場 所： 資料館 参加人数 120人

オ サテライト啓発業務

イタイイタイ病への関心を広げていくため、県内の公的施設等においてイタイイタイ病に関する映像放映やパネル展示を行った。

開催数 8市町村

(富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市)

(25年度 8市町村

富山市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町)

カ 国際健康プラザとの連携事業の実施業務

国際健康プラザで実施している「市町村の日」や講師派遣事業等においてイタイイタイ病資料館の普及活動を行った。

(ア) 資料館の見学と国際健康プラザ利用をセットとしたコースの実施

資料館の見学と国際健康プラザ利用（健康スタジアム内での健康づくり体験等）をセットとしたコースを実施した。

実施回数 10回 人数 429人 (25年度 実施回数 8回 人数 437人)

(イ) 健康講話・健康医学講演会の開催

国際健康プラザにおいて、一般県民を対象に開催している健康医学講演会で、環境と健康に関する内容をテーマとして取りあげた。

開催日 7月 18日 人数 20人 (25年度 開催日 11月 22日 人数 10人)

(ウ) 市町村の日の活用

国際健康プラザにおいて、市町村と連携して実施している「市町村の日」事業で、パンフレットの配布を行った。

(エ) 市町村等各種団体への訪問による普及活動

国際健康プラザにおいて実施している市町村や各種団体への健康づくり講師派遣事業で、資料館の説明や利用案内、パンフレット等を配布し、普及活動を行った。

キ その他資料館の利用促進業務

国際健康プラザを利用する団体や健康パーク友の会を対象に説明、利用案内やパンフレットの配布を実施した。

県からの委託を受け、県内の学校がイタイイタイ病資料館を見学する場合に無料送迎バスを提供した。また、プラザが所有する健康福祉バスを利用しての無料送迎も行った。

実施回数 50 団体 人数 2,842 人 (25 年度 実施回数 47 団体 人数 2,733 人)

(3) 情報発信業務に関する業務

ア みんなの声コーナーのモニター表示管理業務

感想等を表示する「ふり返り展示システム」にイタイイタイ病資料館に寄せられた感想等を確認し、県と調整し表示するものを選定しシステムに登録した。

投稿数 509 件 登録件数 88 件 (25 年度 投稿数 503 件 登録件数 101 件)

イ ホームページの更新業務

県が開設したホームページの掲載情報等（情報の企画立案、内容変更は県が行う）の管理運営を行い、定期的に更新を行った。 アクセス回数 172,451 件

ウ メールマガジンによる情報提供事業

県と調整して、メールマガジンの掲載情報を作成し、登録者へ定期的に配信した。

エ 研修イベントなどのチラシ・ポスター作成等業務

資料館で研修イベント等を実施するにあたり、県で決定した内容をふまえ、ポスター等を作成し効果的に P R できるよう適切に配付、掲示を行った。

第3 健康増進センター事業

1 健康診断事業

(1) 施設内健診事業

健診者総数は18,733人で、前年度に比べ460人(2.5%)増加した。コース別では、一部の健康保険組合が人間ドック受診機関の選択を多くしていることなどにより、総合健診コースは32人(△0.6%)の減少となったものの、新規受診企業の増等により、協会けんぽコースは335人(4.5%)の増加となった。また、定期検診は前年度に比べ216人(4.6%)、保険診療は前年度に比べ59人(8.0%)減少した。

<平成26年度 健診実施状況>

(単位:人)

区分	平成26年度(A) (健診日数:248日)		平成25年度(B) (健診日数:248日)		比較増減(A-B) (健診日数:0日)	
	年間健診 人 数	1日当 り人 数	年間健診 人 数	1日当 り人 数	年間健診 人 数	増減率 (%)
総合健診コース	5,285	21.3	5,317	21.4	△32	△0.6
協会けんぽコース	7,853	31.7	7,518	30.3	335	4.5
小計	13,138	53.0	12,835	51.8	303	2.4
定期検診	4,918	19.8	4,702	19.0	216	4.6
保険診療	677	2.7	736	3.0	△59	△8.0
合計	18,733	75.5	18,273	73.7	460	2.5

(2) 集団検診事業

検診者総数は、247,961人で、前年度に比べ1,056人(0.4%)の増加となった。

検診別では、肺がん検診で403人(2.5%)、循環器検診で8,498人(14.4%)など増加したが、胃がん検診で1,951人(6.4%)、子宮がん検診で2,373人(4.7%)、乳がん検診で2,304人(7.9%)、大腸がん検診で1,262人(5.6%)などそれぞれ減少した。

<平成26年度 各部門別検診実施状況>

(単位:人、台)

区分	平成26年度(A)		平成25年度(B)		比較増減(A-B)	
	年間検診 人 数	検診車 稼動台数	年間検診 人 数	検診車 稼動台数	年間検診 人 数	増減率 (%)
胃がん検診	28,434	975	30,385	992	△1,951	△6.4
子宮がん検診	48,546	498	50,919	498	△2,373	△4.7
乳がん検診	26,944	504	29,248	510	△2,304	△7.9
肺がん検診	16,767	—	16,364	—	403	2.5
大腸がん検診	21,079	—	22,341	—	△1,262	△5.6
循環器検診	67,361	—	58,863	—	8,498	14.4
特定保健指導	681	—	604	—	77	12.7

結 核 檢 診	37,249	559	37,369	497	△120	△0.3
骨 粗 駭 症 檢 診	900	24	812	20	88	10.8
合 計	247,961	—	246,905	—	1,056	0.4

注：高山市等岐阜県内の検診人員、検診車台数については別途記載。

2 がん対策普及調査事業

(1) 啓発普及事業

① がん征圧月間運動の実施

9月のがん征圧月間に、がん予防に関する正しい知識の普及と早期発見、早期治療の大切さを訴えるため、パンフレットやポスターの配布、懸垂幕の掲示等により、検診勧奨の普及を図った。

・実施期間 平成26年9月1日（月）から30日（火）まで

② 日本対がん協会維持会員の募集

がん征圧運動を実施するため、県、市町村、医師会、事業所等の協力を得て、日本対がん協会維持会員の募集と募金を行った。

・個人維持会員数 134人 募金額 390,000円 (25年度 150人 : 344,000円)

・法人維持会員数 34人 募金額 328,000円 (25年度 32人 : 370,000円)

・募金総額 718,000円 (25年度 714,000円)

③ 講演会

市町村や事業所等の要望に応じて職員を派遣し、がんや生活習慣病予防に関する講演を行った。

・講演回数 年間8回実施 (25年度 年間12回)

④ 視聴覚教材の貸出し

健康づくりに関する視聴覚教材を市町村、事業所、学校等へ貸出し、疾病予防や健康づくりの啓発を行った。

貸出実績

区 分	26年度	25年度
ビデオ	0件	0件
模 型	7件	99件
パネル	110件	142件
合 計	117件	241件

⑤ がん検診普及啓発事業

10月のピンクリボン月間に、がん検診の受診率向上をめざし、県内2会場で普及啓発キャンペーンを実施した。

・実施日及び場所 10月 4日（土）：富山会場《ファボーレ》

10月 11日（土）：高岡会場《イオンモール高岡》

(2) がん基金事業

富山県がん対策基金の運用益により、街頭キャンペーン等、がん予防に関する普及啓発を行う

とともに、がん予防技術者の研修助成を行った。

① 年間を通したラジオスポットによるキャンペーン

- ・ラジオ放送の実施（2社 1社当たり 15回放送）

② がん征圧月間（9月）におけるキャンペーン

ア がん予防展示コーナーの設置

- ・平成26年8月1日（金）から11月30日（日）まで 国際健康プラザ

イ エコーはがき（広告付）の作成

- ・9月1日発行（1種類 5万枚）

ウ 新聞広告による普及啓発の実施

- ・9月1日（月）朝刊 3紙 約369千部発行（クイズ形式で掲載）

③ 世界禁煙デー（5月31日）のキャンペーン

「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」の期間中、検診車14台に大版シール（標語）を貼り、視覚に訴える啓蒙普及を検診活動とともに展開した。

- ・実施日 平成26年5月24日（土）から6月6日（金）まで

④ 富山県がん検診普及啓発キャンペーンの実施

- ・10月 ピンクライトアップ県庁前噴水公園他1ヶ所

⑤ 研修会・報告会の開催

市町村や事業所の保健師・衛生管理者等を対象に、平成26年度健康増進センター検診実績の報告会と併せてがん検診普及啓発のための講演会を開催した。

⑥ 研修会等派遣の助成

がん検診に従事する医師など医療技術者の研修会等派遣の助成を行い、検診や読影技術等の向上を図った。（助成人員 5名 （25年度：5名））

(3) 受託事業

がん患者の発生から死亡に至るまでの情報を登録し、がん発生の疫学的要因を明らかにする「富山県がん疫学調査」に協力した。

＜平成26年度 登録状況＞

（単位：件）

区分	届出登録数	死亡票登録数
平成26年度届出数	13,714	1,602
累計登録数	143,439	76,734

注 累計登録数は、昭和61年1月以降の累計数。

3 複十字シール募金事業

(1) 複十字シール運動の実施

結核予防運動を推進するため、県、市町村、婦人会等各種団体の協力を得て複十字シール募金活動を行った。（募金総額 2,375,365円 （25年度：2,551,389円））

(2) 結核予防週間の普及啓発活動

結核予防週間を中心として、ラジオスポット放送・懸垂幕の掲示やポスターの配布等を行い、富山県結核予防婦人会（富山県婦人会）の協力を得て全国統一の街頭キャンペーンを実施し、結核に対する関心と予防思想の普及啓発に努めた。

・街頭放送及びポスターの掲示

実施期間 平成 26 年 9 月 1 日（月）から 30 日（火）まで

・街頭キャンペーンの実施

実施日及び場所 平成 26 年 9 月 20 日（土）富山市・グランドプラザ周辺

・懸垂幕の掲示

実施期間及び場所 平成 26 年 9 月 1 日（月）から 30 日（火）富山市役所広告塔

4 高山市等岐阜県内の集団検診事業

検診者総数は、12,924 人で、前年度に比べ 143 人（1.1%）の減少となった。

検診別でも、子宮がん検診で 41 人（0.7%）、乳がん検診で 147 人（2.4%）の減少となった。

一方、骨粗鬆症検診は 45 人（6.2%）の増加となった。

＜平成 26 年度 高山市等検診実施状況＞

（単位：人、台）

区分	平成 26 年度（A）		平成 25 年度（B）		比較増減（A-B）	
	年間検診 人 数	検 診 車 稼動台数	年間検診 人 数	検 診 車 稼動台数	年間検診 人 数	増減率 （%）
子宮がん検診	6,184	107	6,225	109	△41	△0.7
乳がん検診	5,973	107	6,120	109	△147	△2.4
骨粗鬆症検診	767	17	722	17	45	6.2
合 計	12,924	—	13,067	—	△143	△1.1

第4 評議員会及び理事会の開催状況

1 評議員会

(1) 定時評議員会

開催日 平成26年6月24日(火)

開催場所 富山県教育文化会館503号室

決議議案 議案第1号 平成25年度決算の件

議案第2号 理事1名選任の件

議案第3号 監事2名選任の件

報告議案 平成25年度事業報告

(2) 第1回臨時評議員会

開催日 平成26年7月1日(火)

開催場所 書面による決議

決議議案 議案第1号 評議員1名選任の件

2 理事会の開催

(1) 第1回理事会

開催日 平成26年6月6日(金)

開催場所 とやま自遊館「立山」

決議事項 議案第1号 平成25年度事業報告の件

議案第2号 平成25年度決算の件

議案第3号 平成26年度の検診車整備の件

議案第4号 評議員会召集の件

議案第5号 役員の候補者の件

(2) 第2回理事会

開催日 平成26年6月24日(火)

開催場所 書面による決議

決議事項 議案第1号 理事長選定の件

(3) 第3回理事会

開催日 平成26年7月1日(火)

開催場所 書面による決議

決議事項 議案第1号 評議員の候補者の件

議案第2号 評議員会召集の件

(4) 第4回理事会

開催日 平成27年3月25日(水)

開催場所 富山県企業局 会議室

決議事項 議案第1号 平成27年度事業計画の件

議案第2号 平成27年度収支予算の件

議案第3号 平成27年度資金運用方針の件

議案第4号 評議員会召集の件

議案第5号 役員の候補者の件